

世界の鍼灸コミュニケーション(2)

中国の鍼灸雑誌 —『中国鍼灸』、『鍼刺研究』—

全日本鍼灸学会国際部委員 兵 頭 明*
(学)後藤学園中医学研究室長

はじめに

シリーズ第2段として、鍼灸の発祥の地である中国の鍼灸雑誌を紹介する。中国における鍼灸の専門雑誌としては、『中国鍼灸』、『鍼刺研究』、『上海鍼灸雑誌』、『鍼灸臨床雑誌』、『World Journal of Acupuncture - Moxibustion』の5種がある。このうち今回は代表的なものとして、臨床的内容を主とした『中国鍼灸』、基礎研究の内容を主とした『鍼刺研究』をとりあげる。

ところで『現代針灸文献精萃』(中国中医薬出版社)によれば、中国では1987年~1990年の4年間に、鍼灸に関する論文が計5,697篇発表されている。これは中国で発行されている医学系雑誌186種に発表されたものの総計である。鍼灸の分野ごとにその内容を分けると表1のとおりである。また

表1 鍼灸分野別論文内容(1987~1990年)

1. 鍼灸史・歴代医家論述	138
2. 経絡	107
3. 循経感伝	73
4. 経穴	248
5. 刺灸法	275
6. 子午流注	52
7. 鍼灸原理	324
8. 鍼刺鎮痛	96
9. 鍼刺麻酔	58
10. 診断応用	61
11. 鍼刺事故	42
12. 鍼灸臨床	4,187
13. その他	46
計	5,697

表2は、鍼灸臨床における分野別論文数である。

表2 鍼灸臨床分野別論文数(4,187篇)

内 科	2,068
1. 伝染病	101
2. 循環器疾患	107
3. 造血・リンパ疾患	17
4. 呼吸器疾患	139
5. 消化器疾患	245
6. 泌尿器疾患	131
7. 内分泌・代謝疾患	82
8. 結合織・アレルギー疾患	255
9. 神経疾患	703
10. 精神疾患	100
11. 物理的・化学的・生物的原因による疾患	27
12. その他	171
外 科	695
1. 感染	5
2. 骨傷科	341
3. 泌尿生殖器疾患	87
4. 各論	259
5. その他	3
産婦人科	220
小児科	306
腫 瘤	53
皮膚科	247
眼 科	238
耳鼻咽喉科	144
口 腔 科	57
医案医話	159

1. 『中国鍼灸』

(1) 編集・発行

『中国鍼灸』は、1981年8月に創刊され、中国鍼灸学会と中国中医研究院鍼灸研究所の共同出版と

* Akira Hyodo 全日本鍼灸学会国際部委員・(学)後藤学園中医学研究室長

なっている。本雑誌は隔月刊であり、中国国内では極めて大きな影響力をもっている。それは発行部数からもうかがうことができる。中国国内での毎号発行部数は4万部に達し、国外での発行部数は2千部とのことである。講読者は多くは鍼灸臨床家であるが、鍼灸を担当しない中醫師、あるいは中医学部や鍼灸学部の学生、鍼灸愛好者等にも広く読まれているようだ。発行部数からもわかるように、読者の評価はよく、中国の鍼灸雑誌のなかでは発行部数が最も多い。

本雑誌への投稿数は2カ月平均で200篇とのことであり、厳格な審査によりそのうちの40~50篇(25%)が毎号に掲載されることになる。国内外をとわず投稿があり、国外からの投稿では華僑、あるいは中国で中医を学習した外国人によるものが多いとのことであった。例えばマレーシア、シンガポール、香港、イギリス等から投稿されている。中国国内の投稿元は、主として研究部門、中医研究院、鍼灸研究所、大学等であり、原稿内容の質もかなり高いものとなっている。各病院における基礎臨床スタッフからの投稿もある。原稿は台湾を除く中国すべての省市からよせられている。

(2) 雑誌の内容

内容的には鍼灸臨床に関する論文が多く、良い治験、経験、新しい治療法等を広く紹介している。また経絡の研究や伝統鍼灸文献研究等の内容も掲載されている。本雑誌の見出しは次のように分類されている。

1. 臨床報道
2. 実験研究(例えば経絡、穴位等の各種実験)
3. 文献
4. 灸法研究
5. 専門家経験紹介
6. 短編報道(文章が短く、簡単な治療経験)
7. 鍼灸器材(器材の製作、使用、効果等)
8. 鍼家秘要(老中医の経験、独特な見解等)
9. 百家園(論議されている問題についての検討)
10. 中薬外治(最近設けられたコラム、主として経絡研究と関係するもの、穴位、経絡上に用いて治療するもの)
11. 医案(有効であった個別医案の報道、不定期

報道)

(3) 最近号(1994年4号)の内容

1. 臨床報道

- ① 外陰萎縮症に対する電熱鍼の臨床効果と機序研究
- ② He-Neレーザー鍼による慢性腎炎、腎病治療の臨床研究
- ③ 鍼刺治療による放射性直腸炎および放射性膀胱炎の臨床研究
- ④ 鍼刺穴位注射による三叉神経痛50症例の治療
- ⑤ 前立腺肥大23症例に対する鍼灸治療
- ⑥ 腕腧鍼により治療した機能性疼痛2872症例の治療効果小結
- ⑦ 鍼刺参与による猩紅熱の解熱効果観察
- ⑧ 次髁への穴位注射により治療した腰腿痛214症例
- ⑨ 埋線治療による坐骨神経痛320症例
- ⑩ 鍼刺治療による痰証心得
- ⑪ 芒刺と毫鍼による胃下垂治療の効果対照観察

2. 実験研究

- ① 虚血性中風患者の鍼刺治療におけるニコチン酸試験の価値
- ② 中風患者血液流変学に対する頭穴鍼刺回数の影響
- ③ ネズミ実験性胃潰瘍の耳穴反応と体穴電気鍼の作用

3. 時間鍼法探討

子午流注納支法補瀉時辰の新しい探討

4. 老中医経験

隔薬灸によるテニス肘と腱鞘炎30症例の治療

5. 綜 述

鍼灸による癲癩治療の近年の概況

6. 書 評

繁中に簡を求め、難中に易を求める……『鍼灸簡易取穴法』

7. 短編報道

- ① 鍼刺治療による小児泄瀉155症例の治療効果観察
- ② 対応点への鍼刺による坐骨神経痛200症例

の治療

- ③ He-Ne レーザーによる上腕骨外上顆炎の治療
- ④ 斉刺と酢缶による筋線維症の治療
- ⑤ 抜火缶と按摩法による小児気管支喘息 98 症例の治療
- ⑥ 循経灸による腰椎椎間板ヘルニア症の治療
- ⑦ 鍼灸治療による中風片マヒ 116 症例の効果観察
- ⑧ 経絡輸声治療による軟部組織損傷 100 症例の臨床観察
- ⑨ 透刺と抹法治療による眼瞼下垂 42 症例の観察
- ⑩ 電気鍼強提拉法による顔面麻痺治療の効果観察
- ⑪ 急性腹痛に対する皮下鍼の止痛効果観察

8. 医案選輯

- ① 口腔潰瘍医案
- ② 舌縦縮医案
- ③ 鬱証医案
- ④ 胸中大气失調医案

9. 百家園

- ① 末梢性顔面麻痺の鍼刺治療の時期について
- ② 指下の鍼感の作用について
- ③ 鍼法補瀉について

(4) 文献検索法

本雑誌は、毎年第 6 期号に 1 年間の漢英主題索引がまとめられている。中国語と英語により検索ができるようになっている。また『中国鍼灸』雑誌中の論文は、中国国家中醫藥管理局中国中医薬文献検索センター(中国中医研究院中医薬情報研究所に設置)のデータベースである TCMLARS に漢字で収録されている。

2. 『鍼刺研究』

(1) 編集・発行

『鍼刺研究』の前身は『鍼刺麻醉』である。『鍼刺麻醉』は 1976 年に創刊され内部刊行物であったが、1978 年に『鍼刺研究』に改名され、対外に向けた公開刊行物となって現在に至っている。本雑誌の設立にあたっては、中国医学科学院情報研究

所がその責を負っていたが、1984 年には中国衛生部の決定により中医研究院が同時に責を負うこととなった。内容的には鍼灸の基礎研究を主としており、例としては現在中国で熱心に進められている経絡の研究、灸法の研究等があげられる。ただし臨床的な論文も一部掲載されている。

『鍼刺研究』の中国国内での評価は非常に高い。1994 年 3 月には中国国家科学委員会の評定により、『鍼刺研究』は国家級核心刊行物の 1 つとなっており、このことから権威性のある雑誌であることがわかる。その主たる読者は、鍼灸分野における基礎研究者である。内容が基礎研究にかたよっていることから、臨床家の読者は少ない。

『鍼刺研究』に投稿される原稿は、相当多いようであり、去年は 800 篇前後の投稿があったとのことである。そのうちの 18% が掲載されている。また今年開催された全国第 5 回鍼刺鍼麻醉学術大会に投稿のあった 200 余篇の論文のうち、すでに 140 篇が本雑誌に掲載されている。

すべての論文の最後には、英語の摘要(abstract)が付されている。また国外からの一部の論文には、最後に中国語摘要が付されている。これらの摘要は英語の検索ソフトとして中国医学科学院情報研究所にわたされている。1985 年からのすべての検索資料が、この中国医学科学院情報研究所のコンピュータに入力されているとのことであった。

現在の国内発行部数は 2000 余、国外発行部数は 100 余である。

(2) 雑誌の内容

雑誌目録は、次のようになっている。

- 1. 綜 述
- 2. 臨床研究
- 3. 実験研究

綜述では、主としていろいろな研究の概況が紹介されている。

(3) 最近号の内容

本雑誌は国外発行部数が少ないことから日本では入手しにくいいため、ここでは手もとにある最近号の 1993 年第 18 巻第 4 期の目録を紹介しておく。なお各専門領域の論文であり、誤訳をさけるため

英語による原文で紹介することとする。

CONTENTS

1. Wang Youjing: An Outline of Experimental Studies on the Factors Effecting Electroacupuncture Analgesia
2. Gong Dongfang, Liang Chujing, Lai Xinsheng, Lai Xiuli: Effects of Acupuncture Manipulation on Plasma Estradiol, Testosterone and Cortisol in Patients with Kidney Deficiency
3. Tao Zhili, Li Rewu: The Segmental Distribution of Sympathetic Afferent Neurons of the Heart, Cardiac Nerve, and Projection of the Cardiac Nerve to the Central Nervous System
4. Teng Guoxi, Meng Xianwei, Liu Shuzheng, Ma Xiaoling: Recording Intracellular Potentials of Visceronociceptive Neurons in Posterior Group of Thalamic Nuclei (PO) and Their Labeling with HRP Intracellularly in Cats
5. Liu Junling, Han Zhengjing, Chen Shuping, Cao Qingshu: Influence of Electroacupuncture on Electrical Activity of Dorsal Horn Neurons of the Thoracic Spinal Cord in the Rabbit
6. He Xiaoling, Zhu Bing, Liu Xiang, Xu Weidong, Zhang Shouxin: The Extensiveness and Specificity of Analgesia of Electroacupuncture (EA) at Different Points on the Nociceptive Responses of Neuron in Spinal Dorsal Horn
7. Cao Qingshu, Han Zhenjing, Chen Shuping: Influence of EA on the Effective Refractory Period in Rabbits with AMI
8. Xu Rong, Guan Xinmin, Wang Caiyuan: Influence of Capsaicin Treating Sciatic Nerve on the Pain Threshold and the Effect of Acupuncture Analgesia of Rats
9. Li Wangyao, Liang Chujing, Liang Zhiwei, Liu Jinquan, Zhong Guocun, Lu Chenghong: Experiment Research of Acupuncture

Manipulation of Reinforcing and Reducing by Lifting and Thrusting Needle on the Animal

10. Zhu L. X., Li C. Y., Ji C. F., Yang B, Li W. M.: The Role of Substance P and Somatostatin in Acupuncture and Moxibustion – Induced Postsynaptic Inhibition
11. Fang Z. R., Li Y. H.: The Observation on Analgesic Effect of Moxibustion in Rats
12. Chen Yanjiang, Cao Youqing, Xiao Desheng, Chu Xiangping: The Relation between Protective Effect of Moxibustion on Gastric Mucosa and Mucus

(4) 文献検索法

本雑誌は毎年第4号に、1年間の総目録が紹介されている。データベースとしては、先述の TCMLARS に収録され、また1985年からの論文は、米国国立医学図書館(NLM)のMEDLINEに収録されている。

おわりに

ここでは鍼灸の専門雑誌ということ述べたが、中国では中医関係の諸雑誌にも鍼灸に関する多くの論文が掲載されている。表3として中医薬期刊雑誌一覧表を『中医年鑑』より引用し紹介する。

また『中国科技期刊中医薬文献索引』(1949～1986年)全9冊が、1993年に光明日報出版社から出版されている。その第2分冊は、「中医理論、鍼灸、気功、看護分冊」となっており、1949年から1986年までの鍼灸に関する論文は、ほとんどこの第2分冊で検索することができる。価格は96元。この書籍は日本でも購入することができる(日本からの注文では約8,640円)。中国においてこの38年来、どのような鍼灸臨床および研究がなされてきたかを検索することができる。参考にしていただきたい。亜東書店、東方書店、内山書店などの中国図書を扱っている書店に問いあわせるとよい。

表3 中医薬期刊雑誌一覧表
(それぞれ創刊年月、発行周期、国内国外発行部数の順)

中国医薬学報 1986. 7 隔月刊 18,000(350)	中医雑誌 1955. 1 月刊 83,000(1,000)	中医雑誌(英語版) 1981. 7 季刊 500(1,000)	中西医学結合雑誌 1981. 7 月刊 35,000(300)
中国鍼灸 1981. 8 隔月刊 249,566(3,000)	鍼刺研究 1976 季刊 1,500(100)	中医教育 1982. 11 隔月刊 5,000(100)	中薬通報 1955 月刊 16,000(200)
中華医史雑誌 1947. 3 季刊 13,092(528)	国外医薬中医中薬分冊 1978. 11 隔月刊 42,000	北京中医 1982. 3 隔月刊 60,870(1,556)	北京中医学院学報 1959. 10 隔月刊 3,000(200)
天津中医 1984. 10 隔月刊 4,000(100)	天津中医学院学報 1982 季刊 3,200	中草药 1970. 1 月刊 14,000(200)	中文科技資料目録 …中草药 1978 季刊 1,000
中国気功 1986. 2 季刊 140,000(1,000)	河北中医 1979. 10 隔月刊 5,500(12)	衛生科普 1981. 1 隔月刊 80,000	山西中医 1985. 1 隔月刊 7,000(200)
中医薬研究雑誌 1984 隔月刊 12,500(700)	内蒙古中医薬 1982. 7 季刊 4,200	遼寧中医雑誌 1958. 11 月刊 7,200(250)	中医函授通訊 1982 隔月刊 46,000(275)
吉林中医薬 1979 隔月刊 3,000(100)	長春中医学院学報 1985 季刊 400	黒竜江中医薬 1965. 10 隔月刊 2,500(27)	中医薬学報 1973. 6 隔月刊 8,000(100)
中医薬信息 1984 隔月刊 10,000(100)	上海中医薬雑誌 1955. 6 月刊 30,000(800)	上海鍼灸雑誌 1982. 2 季刊 12,500(500)	中成薬研究 1978. 8 月刊 10,000(300)
江蘇中医 1956. 10 月刊 23,000(500)	南京中医学院学報 1959. 6 季刊 1,500	浙江中医雑誌 1956. 12 月刊 28,000(500)	気功雑誌 1986. 12 月刊 300,000(2,000)

浙江中医学院学报 1977. 3 隔月刊 2,500(130)	紹興中医薬 1979. 12 季刊 3,000	安徽中医学院学报 1981. 12 季刊 3,100	江西中医薬 1951. 4 隔月刊 24,000(600)
山東中医雑誌 1981. 10 隔月刊 12,000(100)	山東中医学院学报 1977. 2 季刊 3,000(100)	沂蒙中医 1977. 2 半年刊 1,000	福建中医薬 1956. 7 隔月刊 5,123(168)
河南中医 1981. 1 隔月刊 11,000(310)	国医論壇 1986. 2 季刊 5,000(50)	湖北中医雑誌 1979. 9 隔月刊 7,900(100)	湖南中医雑誌 1985. 5 隔月刊 7,495(72)
湖南中医学院学报 1979 季刊 3,000	広州中医学院学报 1984. 9 季刊 2,000(30)	新中医 1969. 12 月刊 83,000(1,500)	中薬材 1978. 1 隔月刊 15,000(1,000)
気功と科学 1982. 8 月刊 250,000(3,000)	按摩と導引 1985. 4 隔月刊 24,000(100)	広西中医薬 1965. 3 隔月刊 5,000	四川中医 1982. 10 月刊 16,000(150)
成都中医学院学报 1958 季刊 3,500	新医学文献(カード) …中医分冊 1981. 1 隔月刊 14,500	貴陽中医学院学报 1979. 7 季刊 4,000	雲南中医雑誌 1980. 2 隔月刊 4,500(220)
雲南中医学院学报 1978. 1 季刊 2,000	陝西中医 1980. 2 月刊 11,500	陝西中医学院学报 1978 季刊 5,000	陝西中医函授 1981. 9 隔月刊 20,000
新疆中医薬 1981. 1 季刊 2,000	甘肅中医学院学报 1984. 7 季刊 1,200	甘肅中医 1988. 5 隔月刊 3,000	